

西別府氏館跡(熊谷市)

ここに西別府氏館跡の石碑が立っている



「史蹟 西別府館址」とある/後ろに稲荷社がある



昭和11年に立てられたようだ



この辺り一帯が西別府氏館跡であったのだろうか



北西側から一帯を見る/正面前方が石碑のあるところ



さて、ここは西別府氏館跡の東にある安楽寺で、ここに西別府氏五代目頼重のものと伝わる板碑があるという



標柱に「史蹟 別府氏墓 埼玉縣」とある





史蹟 別府氏墓

左手の石碑は別府氏墓碑





安樂寺本堂



さまざまな石造物がある



正面が西別府氏五代目頼重のものと伝わる板碑





埼玉県指定
史跡

別府氏の墓

熊谷市大字西別府二〇四四
昭和十一年三月三十一日 指定

別府氏は、成田氏系図によると、藤原氏の流れて成田助高の二男、別府次郎行隆が、別府に住んでから、その子の太郎義行は、東別府に、二郎行助が西別府に数代相対して領知した。

この安楽寺にある別府氏の墓は、大小二基の五輪塔と、三基の板石塔婆である。

このうち、板石塔婆の一基は、高さ二メートル、幅五二センチで、別府頼重の墓と称される。

この塔婆は、上部にキリク(阿弥陀)種子と月輪をおき、その下に次の銘文がある。

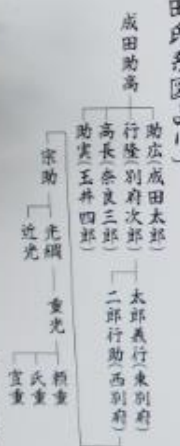
甲斐守 藤原頼重世寿

文和三年^甲五月十一日^{壬子}逝

四十一歳 法号常贊矣

なお、この板石塔婆は、文和三年(一三五四)の紀年
が示すように南北朝時代の代表的なものである。

〔成田氏系図より〕



昭和五十年三月
埼玉県教育委員会
熊谷市教育委員会

埼玉県の指定史跡となっている



二基の五輪塔と三基の板碑がある



一番高い板碑が西別府氏五代目頼重の墓と伝わる板碑/南北朝時代造立



背面から見る



参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/joukan-saitama/nisibettpusi-yakata/nisibettpusi-yakata.html>

http://castle.slowstandard.com/10kanto/13saitama/post_912.html

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/kumagaisi.htm>

http://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/56765351.html

<http://atenzasports23z.blog.so-net.ne.jp/2009-10-17-2>

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/002saitama/165nishibeppu/nishibeppu.html>

